

6
15

やましな

山科区シンボルマーク

市民しんぶん山科区版 <http://www.city.kyoto.lg.jp/yamasina/>

総人口	135,951人
世帯数	58,685世帯
平成23年5月1日現在 (推計人口)	
交通事故	367件 (-22)
死者	1人 (±0)
負傷者	445人 (-47)
火災	5件 (±0)
救急	2,377件 (+90)
平成23年5月15日現在	
※交通事故(概数)は、醍醐を含む	

※()内は昨年同月比

水災害時の避難について

●浸水の様子と避難行動

洪水が発生する危険が迫っている時には、予想される浸水の深さによって、取るべき行動が異なります。避難が必要とされる場合は、雨が強くなる前、暗くなる前に安全な避難所に避難することが原則です。

しかし、浸水は刻々と時間を追って状況が変化することから、もうすでに浸水が始まっているなど避難所への避難に危険を感じた場合は、自宅の上階や近くの高い建物に一時的に避難してください。



災害が起きたら

夏を目前にしたこの時期は、梅雨前線の影響により雨の日が多くなります。雨の降り方に注意し、被害に遭わないようにしましょう。

また、今年3月11日に太平洋の三陸沖を震源としたマグニチュード9.0の大地震が発生しました。近畿地方も、南海・東南海地震の海洋型地震や活断層による地震の活動期に入っています。いざという時の行動手順について、今一度確認してください。



土砂災害時の避難について

●前兆現象による避難行動

土砂災害の前兆現象は、土石流やがけ崩れなどの土砂災害の発生前に、斜面や渓流で見られる兆候です。斜面から小石がぱらぱら落ちる、湧水が濁る、渓流が急に濁る、雨が降っているのに水位が下がるなどの減少が見られるということは、斜面の内部や渓流の上部で既に何らかの現象が起きているということです。これらの前兆現象を確認した場合は、土砂災害警戒情報が発令されていなくても、早めに安全な所に避難する必要があります。

なお、大雨時には危険ですので斜面や渓流に近付かないでください。



震災時の避難について

地震発生

① まずは身の安全を守りましょう！

- ・ テーブルや座布団で頭を保護する。
- ・ 壁や柱に身を寄せ、揺れがおさまるのを待つ。
- ・ 料理中であればすぐに火を消す。ただし、揺れが大きければ無理をしない。

② 隣近所を確認しましょう！

- ・ 火災が発生していないか。
- ・ 倒れた家などに挟まれた人がいないか。

③ 地域の集合場所に集まりましょう！

自主防災組織が定めた地域の集合場所に集まり、安否確認をはじめ、初期消火、救出・救護活動などを協力して実施しましょう。

④ どこに避難するのか！

- ・ 地震に伴う大火災等の二次災害の危険がある場合⇒広域避難場所へ。
- ・ 災害により現に被害を受け、または受けるおそれがある場合⇒避難所へ。



広域避難場所一覧

名 称	
山科中央公園、安祥寺中学校グラウンド、山階小学校グラウンド	
京都薬科大学グラウンド	東野公園、山科中学校グラウンド
洛東自動車教習所	龍谷大学グラウンド
勤修寺公園、勤修中学校グラウンド	

避難所一覧

名 称	
山階小学校	花山中学校
鏡山小学校	安祥寺中学校
音羽小学校	勤修中学校
勤修小学校	大宅中学校
安朱小学校	東総合支援学校
山階南小学校	洛東高等学校
陵ヶ岡小学校	一燈園小学校・中学校・高等学校
大宅小学校	京都薬科大学
百々小学校	京都橘大学
大塚小学校	東山老年サナトリウム
音羽川小学校	西本願寺山科別院
小野小学校	東本願寺山科別院
西野小学校	京都市東部文化会館
山科中学校	京都市山科地域体育館
音羽中学校	京都市生涯学習総合センター山科

●問合せ先／区総務課調査担当(☎592-3066) 市防災危機管理室(☎212-6730) 山科消防署(☎592-9755)

心豊かな
人と緑の“きずな”のまち山科

東日本大震災の支援について

義援金など詳しくは、山科区役所等のホームページをご覧ください。